

2025年2月12日

各位

株式会社北洋銀行
株式会社北海道二十一世紀総合研究所

空間型 VR を開発するフォレストデジタル株式会社様に 「北洋 SDGs 推進 2 号ファンド」を通じて出資しました

株式会社北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)、株式会社北海道二十一世紀総合研究所(代表取締役社長 進藤 智)は、2024年11月15日付でフォレストデジタル株式会社様(本社:浦幌町 代表:辻木 勇二様)に「北洋 SDGs 推進 2 号ファンド(北洋 SDGs 推進 2 号投資事業有限責任組合、以下本ファンド)」を通じて2,000万円を出資しました。

当社は、空間型 VR を開発する浦幌町本社のスタートアップです。開発の空間型 VR(商品名:uralaa うらら)は、前後、左右、天井の5面に設置するマルチスクリーンに360度カメラで撮影した自然などの映像を投射し、音声や香りを拡散する芳香器を組み合わせ臨場感の高い自然没入体験が可能です。羽田空港内の飲食店、企業のシェアオフィス、マンションの共用施設などで既に導入されている他、学生向けの職業体験授業でも利用されています。

今後は、没入体験の技術開発を進めることにより、エンターテインメント等を含む幅広いサービスが期待されています。

独自の特許技術を駆使し没入空間を提供する事業を高く評価し、本ファンドを通じて出資しました。



以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGs に関連するプレスリリースには、該当する SDGs のアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。